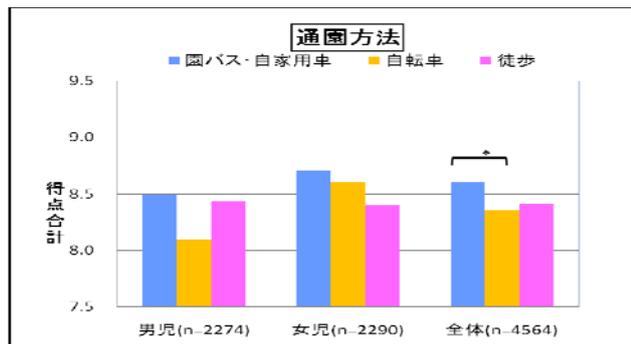
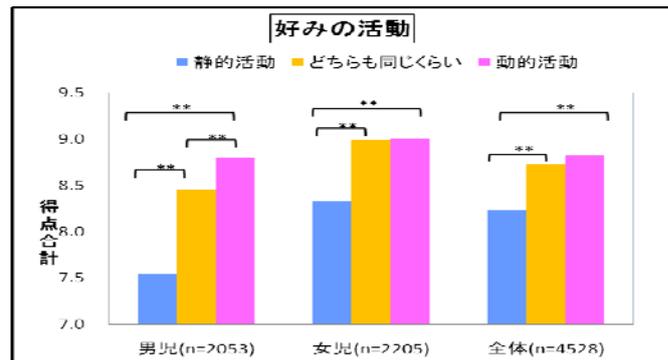
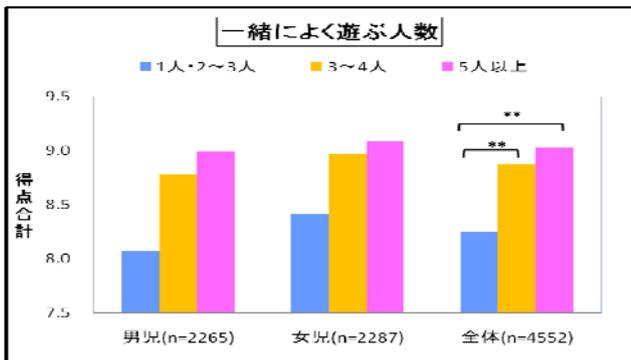
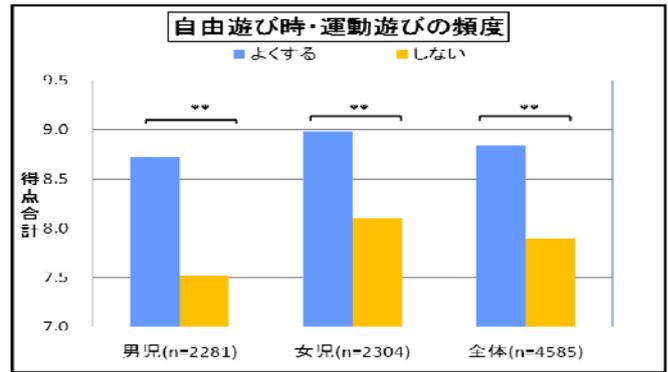
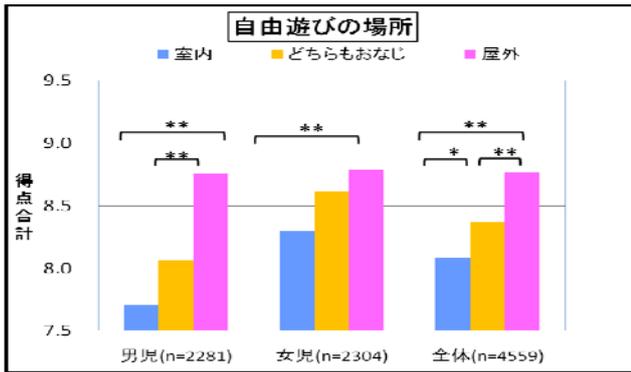


VII-2 園環境による運動能力発達の比較

(1) 園での子どもの運動経験

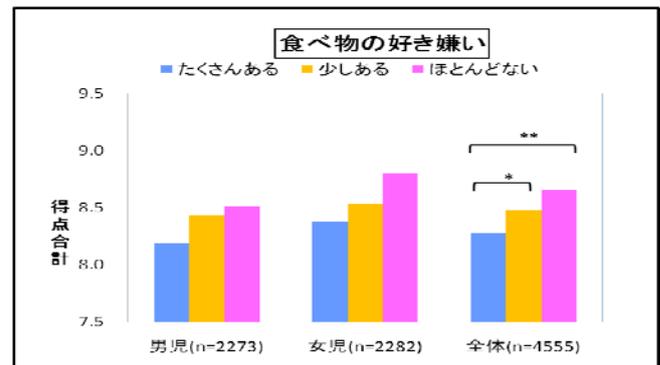
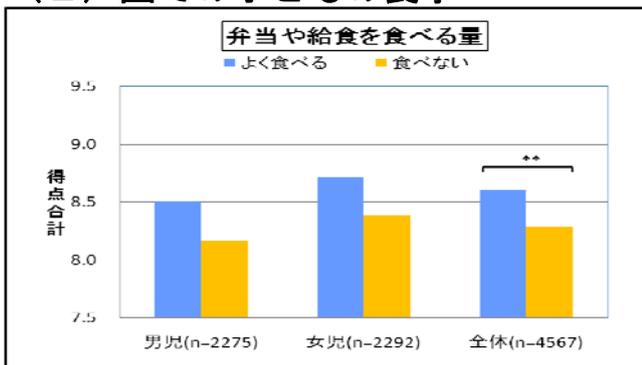
*p<0.05, **p<0.01



(1) 園での運動経験と運動能力発達

- ①自由遊びの場所：屋外でよく遊ぶと評価された園児が他よりも運動能力が高かった。
- ②運動遊びの頻度：よく運動遊びをすると評価された園児がそうでない園児より運動能力が高かった。
- ③一緒に遊ぶ人数：人数が多いと評価された園児がそうでない園児より運動能力が高かった。
- ④好みの活動：動的活動を好むと評価された園児が静的活動を好むと評価された園児より運動能力が高かった。

(2) 園での子どもの食事



(2) 食事と運動能力発達

- ①弁当と給食を食べる量：よく食べると評価された園児がそうでない園児より運動能力が高かった。
- ②食べ物の好き嫌い：ほとんどないと評価された園児がそうでない園児より運動能力が高かった。

以上から、昨年に引き続き、ほぼ男女ともに日常活発に動く活動的な園児は、運動能力が高く、さらに食事をたくさん食べて好き嫌いが少ないという傾向が明らかになったと言えるのではないかと思います。

注1) グラフの縦軸は基本3種目合計評定点(昨年度作成した「柏市運動能力判定基準表」をもとに評定)
 注2) 図中の『*』『**』のついている個所は、有意差(統計上、確率的には偶然とは考えにくい意味のある差)が認められたグループ